

## 完了報告書

テ　　マ：　　第15回日本在宅医学会大会

申　請　者：　永井康德

助成対象年度：　2012年（前期）指定公募  
在宅医療推進のための研究会、研修会への助成および学会等への共催

提出年月日：　2013年5月2日

1. 開催学会 第15回日本在宅医学会大会
2. 開催日程 2013年3月30日(土)・31日(日)
3. 開催場所 ひめぎんホール(愛媛県民文化会館)  
〒790-0843 愛媛県松山市道後2丁目5番1号
4. 開催内容 大会プログラム添付
5. 参加者数 3000名
6. 感想

日本在宅医学会大会は、これまで1000名規模の大会であったが、在宅医療の進展がいわば国策とも言われ、また昨年には厚生労働省が全国に105箇所の在宅医療連携拠点を設置し各地域での在宅医療の拡大を目指すなど、在宅医療の果たすべき役割がますます大きくなる中では、この在宅医学会大会は、もっと多くの在宅医療に携わる人達が集い、議論し、交流する場であるべきとの思いから、今年は2000名の参加者を集めることを目標に、大会開催の準備を進めた。

多彩なプログラムの設定、選りすぐりの演者への依頼、新たな参加方式の開始、更には事前PRの徹底強化、共催企業の協力拡大等々を通して、参加者の増大に取り組んだ。また併せて、参加者に心より喜んで頂ける大会となるよう、その運営をイベント会社に任せるのではなく、自法人職員自身にて行い、全国から来られる参加者の皆さんを、四国の(お遍路さんへの)お接待の気持ちで誠心誠意真心を込めてお迎えしようとする目標を掲げた。

その結果、最終的な参加者は、過去ならびに目標を大きく上回る3000名を数えるに至った。参加も北は北海道から南は沖縄まで全国各地から、四国以外からの参加者も2000名を大幅に超える結果となった。

参加者の職種も、医師、看護師、療法士、ケアマネ、ヘルパー、鍼灸マッサージ師、事務職、学生など多岐に渡り、また行政や医師会、一般の方等の参加も多く、まさに多職種連携を体現できる大会となった。

また、多くのマスコミからも取材を受けることとなり、例えば大会当日のNHKニュースでも2回に渡り(違う内容で)その様子が取り上げられ、その注目度の高さが推察された。

大会後には大変多くのメールを事務局に頂き、「大変素晴らしい大会であった」「おもてなしの心の伝わる大会であった」「学会というより素晴らしい映画を見終えた満足感であった」などなど、心温まる感想を頂戴したことからも、参加者の皆様に一定の満足度をもって評価される大会であったと思う。

さらに、今大会の成功が次回以降にも継続されるよう、次大会の事務局ともすでに打合せを行い、その成果が一過性のものにならないよう努めていく所存である。

今大会への助成を頂いた公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団に心より御礼を申し上げ、完了報告としたい。

平成25年3月30日		メインホール	サブホール	真珠の間A	真珠の間B	第6会議室	第8会議室	多目的室	第1会議室	第2会議室	第3会議室	第5会議室	第7会議室	
1 日 目	9:30-10:00	開会式												
	10:00-11:00	特別講演 多死社会を迎えて在宅医療が果たす役割 第1部 「在宅医療の最近の動向と今後の展望」	シンポジウム 「どうすれば開業医が在宅医療に参入できるか?～在宅医養成と都市部・町村部の医療連携の取り組み～」 座長:白髭内科医院・白髭 豊先生 鈴木内科医院・鈴木 央先生 演者:池田診療所・緩和ケアネットワーク大田・長坂 行博先生、出口外科医院・出口 雅浩先生、あおぞら診療所・川越 正平先生、古田 医院・古田達之先生	シンポジウム 被災地に学ぶ～医療過疎地域で在宅医療をどう展開するか? 座長:山梨市立牧丘病院・古屋 聡先生 演者:気仙沼市立病院・横山 成邦先生、村岡外科クリニック・村岡 正朗先生、気仙沼市立本吉病院・川島 実先生、祐ホームクリニック石巻・武藤 真祐先生 特別発言:たんぼクリニック・永井 康徳	シンポジウム 病院が変われば在宅医療が変わる～医療連携から生活連携へ～ 座長:愛媛大学医学部附属病院 医療福祉支援センター・橋本 真幸先生、長崎大学病院 医療情報部・松本 武浩先生 演者:神戸大学医学部附属病院 患者支援センター・内藤 純子先生、名古屋大学医学部大学院医学系研究科 地域包括ケアシステム学寄附講座・鈴木 裕介先生、長崎大学病院 地域医療連携センター・川崎浩二先生、愛媛大学付属病院 医療福祉支援センター・小手川 雄一先生	教育講演① 『高齢者の栄養の問題、特に在宅医療において』座長:いらはら診療所・和田 忠志先生 演者:名古屋大学・葛谷 雅文先生	一般演題口演	セミナー ポケットエコーVscanを用いた超音波実技セミナー 共催:GEヘルスケア・ジャパン 座長:駿河台日本大学病院 超音波室・小川 眞広先生 演者:鳥伝白河会 ドクターゴン診療所・泰川 恵吾先生 東京大学医学部不贈病院 検査部・竹中 克先生	*実技の受講には事前申し込みが必要です。 お申し込みはプログラムのページからお願い致します。					
	11:00-12:00	厚労省在宅医療推進室・新谷 幸子先生 第2部 「地域包括ケア時代に在宅医療が果たす役割」 東京大学高齢社会総合研究機構・辻 哲夫先生	ランチョンセミナー② 在宅医療における認知症診療のコツ 共催:小野薬品工業株式会社 座長:梶原診療所・平原 佐斗司先生 演者:国立長寿医療研究センター・遠藤 英俊先生	ランチョンセミナー③ おしこの悩み、どうしてますか? 共催:旭化成ファーマ株式会社 座長:ももたろう往診クリニック・小森 栄作先生 演者:もりもと在宅クリニック・亀井 修先生	ランチョンセミナー④ 認知症治療薬理解のポイントおよび周辺症状に使う薬の注意点 共催:第一三共株式会社 座長:ライフケア薬局・中矢 孝志先生 演者:くろしお薬局・川添 哲嗣先生	教育講演② 「生きることの集大成を支える在宅医療」 座長:小笠原内科・小笠原文雄先生 演者:仙台往診クリニック 川島 孝一郎先生	一般演題口演	ランチョンセミナー⑤ 「北海道における循環型地域医療支援システム～医療過疎地域における人材確保のために～」共催:医療法人 ゆうの森 座長:医療法人ゆうの森・演者:圭三先生 演者:北海道家庭医療センター・草場 鉄周先生		ランチョンセミナー⑥ 在宅医療における医療用医薬品の上手な使い方 共催:塩野義製薬株式会社 座長:愛媛大学医学部付属病院・坪田 信三先生 演者:東芝病院緩和ケア科・茅根 義和先生	ランチョンセミナー⑦ 在宅で肺炎を治す呼吸リハビリ 共催:帝人在宅医療株式会社 座長:放射線第一病院・谷口 千明先生 演者:須藤内科クリニック・中田 隆文先生	ポスター閲覧可能時間 (12:00～13:30)		
	12:10-13:10	ランチョンセミナー① 「平穏死・10の条件～在宅でも病院でも施設でも患者が望む「最期」を叶えるために知っておきたいこと～」 共催:アポットジャパン株式会社 座長:松山ペテル病院・中橋 恒先生 演者:長尾クリニック・長尾 和宏先生	シンポジウム 小児在宅医療の展望－医療と福祉の協働による新しいコミュニティの創造 座長:ひばりクリニック・高橋 昭彦先生 演者:心身障害児総合医療療育センターむらさき愛育園・北住 映二先生、島田療育センターはちおうじ・小沢 浩先生、伊予病院小児リハビリ・藤田 正明先生、あおぞらネット・梶原 厚子先生、社会福祉法人むそう・戸枝 陽基先生、子ども在宅クリニックあおぞら診療所墨田・前田 浩利先生	シンポジウム 在宅医療における情報共有とIT活用「病院から在宅へ」 座長:白髭内科医院・白髭 豊先生、あじさいネット・松本 武浩先生 演者:やまぐちクリニック・山口 高秀先生、もりおか往診クリニック・木村幸博先生、石川リハビリ神経クリニック・石川 朗宏先生、北美原クリニック・岡田 晋吾先生、尾道総合病院・石川 哲大先生	訪問看護交流会 多死社会に向けて在宅医療の鍵となる訪問看護を普及させるためには?～情報共有や当番体制、連携のシステムを確立し、スタッフが疲弊せずにやりがいを持てる方法を考えよう～ 座長:医療法人聖愛会・森 菊子先生 演者:ケアーズ白十字訪問看護ステーション・秋山 正子先生、訪問看護ステーション東宇和・小川口 淳子先生	訪問リハビリ交流会 「どうする、どうなる、リハビリ業界!」 進行:たんぼクリニック・村上茂雄 座長:有限会社愛媛リハビリ研究所・毛利 雅英先生 演者:船橋市立リハビリテーション病院・伊藤 隆夫先生	在宅クリニック事務交流会 新規問い合わせの事務説明から看取り後の集金まで～各クリニックの自慢のツール紹介、困難事例ディスカッション～ 座長:ネクストホームクリニック・片山 雄史先生 演者:コールメディカルクリニック広島・小玉 直人先生、つばきクリニック・上畑 大先生、オレンジホームケアクリニック・山崎 泰生先生、坂の上ファミリークリニック・細田 修先生	訪問薬剤師交流会 在宅医療における薬剤師の役割～進歩する現状と進化する未来への提言～ 座長:くろしお薬局・川添 哲嗣先生 演者:ベンギン薬局・中村 美喜子先生、すずらん薬局・松谷 優司先生、メディカルグリーン・大澤 光司先生	一般演題ポスターセッション	一般演題ポスターセッション	一般演題ポスターセッション		一般演題ポスターセッション	一般演題ポスターセッション
	13:30-14:00	総会	シンポジウム 患者の療養場所の選択;意思決定の支援について 座長:北里大学病院 患者支援センター部・小野沢 滋先生 演者:神奈川県立がんセンター・清水 奈緒美先生、ファーマダイワ介護サービスセンター・益永 佳予子先生、おれんじの会・松本 陽子先生、日本医療社会福祉協会・佐原 まち子先生	シンポジウム 在宅医療における情報共有とIT活用「病院から在宅へ」 座長:白髭内科医院・白髭 豊先生、あじさいネット・松本 武浩先生 演者:やまぐちクリニック・山口 高秀先生、もりおか往診クリニック・木村幸博先生、石川リハビリ神経クリニック・石川 朗宏先生、北美原クリニック・岡田 晋吾先生、尾道総合病院・石川 哲大先生	訪問鍼灸マッサージ師交流会 日本在宅医学会の中心で訪問マッサージ鍼灸の意義を叫ぶ!～医療介護と連携できるマッサージ師、鍼灸師になるために～ 進行:クローバ・永吉 裕子 演者:東京都鍼灸師会・高田 常雄先生、たんぼクリニック・矢野 博文、同病院・一井 美哉子	ケアマネ交流会 ケアマネさんいらっしゃい!～明日からもっと楽しくなるヒント～ 進行:居宅介護支援事業所・須田 名奈先生、ももたろう在宅往診クリニック・小森 栄作先生、松前町地域包括支援センター・畑中 真理先生、松山市地域包括支援センター・城北・山本 智津子先生、つむぎ・小林 厚子先生、居宅介護支援事業所コスモス・高田 志乃	在宅クリニック事務長交流会 ～在宅クリニックの運営や経営、人材確保や育成、集患などなど、そのノウハウに迫ります!～ 座長:医療法人ゆうの森・木原 信吾 演者:仙台往診クリニック・千葉 宏毅先生、いらはら診療所・浅沼 裕子先生、あおぞら診療所高知潮江・松澤 亮先生、ナカノ在宅医療クリニック・竹内 ゆみ子先生	訪問介護ヘルパー交流会 ～ヘルパーの視点で考える看取りのケア～ 医療法人ゆうの森・亀井 修 演者:あんぎ・中矢 暁美先生、訪問介護事業所・坂田 文、河上あこ	一般演題ポスターセッション	一般演題ポスターセッション	一般演題ポスターセッション	一般演題ポスターセッション	一般演題ポスターセッション	
	14:00-14:30	代表理事講演 「超高齢社会に向けて日本在宅医学会が果たす役割」 日本在宅医学会代表理事・前田 憲志先生	大会長講演 「生き方に向き合う在宅医療～高齢社会から多死社会へ～」第15回日本在宅医学会大会長・永井 康徳	市民公開講座 「命に向き合う時～胃ろうと延命～」 (演劇) 解説:医療法人ゆうの森 佐野 正浩 作・演出 大沢 紘一 出演:完熟「一期座」	市民公開講座 「命に向き合う時～胃ろうと延命～」 (演劇) 解説:医療法人ゆうの森 佐野 正浩 作・演出 大沢 紘一 出演:完熟「一期座」	懇親会 (大和屋本店)	懇親会 (大和屋本店)	懇親会 (大和屋本店)	懇親会 (大和屋本店)	懇親会 (大和屋本店)	懇親会 (大和屋本店)	懇親会 (大和屋本店)	懇親会 (大和屋本店)	懇親会 (大和屋本店)
	14:30-15:00	17:20-18:20	19:00～	※3月27日現在										

平成25年3月31日		メインホール	サブホール	真珠の間A	真珠の間B	第6会議室	第8会議室	多目的室	第1会議室	第2会議室	第3会議室	第5会議室	第7会議室	別館第11会議室	
2 日 目	8:00-8:50	<p>演者 たんぼぼクリニック・永井 康徳 同院・江籠平 紀子</p>		早起きは三文の徳!モーニングセミナー「これだけは知っておきたい在宅医療制度の知識～明日からの業務に活かす知識を身につけよう～」	※モーニングセミナー参加者へはサンドウィッチ、コーヒーを無料サービスします(先着200名様)										
	9:00-10:00	合同シンポジウム 日本在宅医学会・日本緩和医療学会・日本老年医学会 「終末期ガイドラインを在宅現場でどう活かす?～先延ばしの医療から本人の生き方に向き合う医療へ～」	シンポジウム 在宅医療連携拠点事業全国大会 ～他の地域にも広がってほしい取り組み～ 座長:総合在宅医療クリニック・市橋 亮一先生、国立長寿医療研究センター・三浦 久幸先生 講評:国立長寿医療研究センター・大島 伸一総長	シンポジウム 認知症の人の生き方に向き合う 共催:エーザイ株式会社 座長:梶原診療所・平原 佐斗司先生、愛媛大学大学院医学系研究科脳とこころの医学・谷向 知先生 演者:医療法人仁恵会 佐伯保養院・山内 勇人先生、医療法人社団こだま会 こだまクリニック・木之下 徹先生、公益社団 認知症のひと家族の会・高見 国生先生、認知症介護研究・研修東京センター・永田 久美子副部長、社会福祉法人ロザリオの聖母会 海上療養所・上野 秀樹先生	シンポジウム 「食」を支援する多職種連携 座長:山梨市立牧丘病院・古屋 聡先生 演者:地域栄養ケアPEACH厚木・江頭 文江先生、新宿食支援研究会・五島 朋幸先生、京滋 摂食・嚥下を考える会・荒金 英樹先生、在宅栄養支援の和・愛知・奥村 圭子先生、気仙沼巡回療養支援隊:気仙沼口腔ケア・摂食嚥下・コミュニケーションサポート・一瀬 浩隆先生	シンポジウム(公募演題) 機能を強化した在宅療養支援診療所の現在と未来 機能強化型在宅診療、在宅病や在宅診療の連携のバリエーションや連携の工夫、在宅診療の多職種連携の方法や病院、療養病床との連携の取り組みなどを紹介する中で、機能強化型在宅診療の制度の意義を再確認し、機能強化型在宅診療の果たす役割について議論 座長:医療法人アスミス・太田 秀樹先生、いらはら診療所・和田 忠志先生	一般演題口演	指導医大会 「プリンシプルを学ぶ」シリーズ第3回 第1部 座長:東京・杉並家庭医療学センター・一戸 由美子先生 演者:国立がん研究センター東病院・木下 寛也先生 第2部 座長:オレンジホームケアクリニック・紅谷 浩之先生 演者:奈義ファミリークリニック・松下 明先生	一般演題 ポスターセッション	一般演題 ポスターセッション	一般演題 ポスターセッション	一般演題 ポスターセッション	一般演題 ポスターセッション		
	10:00-11:00	座長:長尾クリニック・長尾 和宏先生、仙台往診クリニック・川島 孝一郎先生 演者:東京都健康長寿医療センター・井藤 英喜先生、帝京大学医学部 内科学講座 緩和ケア内科・有賀 悦子先生、独立行政法人国立病院機構 新潟病院・中島 孝先生、仙台往診クリニック・川島 孝一郎先生、おれんじの会・松本 陽子先生													
	11:00-12:00														
	12:10-13:10	ランチョンセミナー⑧ 「早期から食べる、最後まで食べる」 共催:株式会社大塚製薬工場 座長:横浜市立大学附属市民総合医療センター・若林 秀隆先生 演者:東名厚木病院摂食嚥下療法部・小山 珠美先生	ランチョンセミナー⑨ 「何処で最期を迎えるのかを選べる時代に一多死社会に向けての取り組み」 共催:株式会社クリニコ 座長:東京大学大学院人文社会科学系研究科 上野死生学・応用倫理講座 会田 薫子先生 演者:ナラティブホーム・佐藤 伸彦先生	ランチョンセミナー⑩ 「地域でのエンドオブライフを支える訪問看護」 共催:久光製薬株式会社 座長:ナカノ在宅医療クリニック・中野 一司先生 演者:ケアーズ白十字訪問看護ステーション・秋山 正子先生	ランチョンセミナー⑪ 多職種で考えたい、市中在住者縮者のためのボツリヌス療法と家で行う前後のケアー運動・電気治療・装具とそれから 共催:グラクソ・スミスクライン株式会社 座長:旭川医科大学病院リハビリテーション科・大田 哲生先生 演者:沖井クリニック・沖井 明先生	ランチョンセミナー⑫ 一般演題口演(優秀演題) 共催:武田薬品工業株式会社 一般演題の優秀演題を発表 座長:日本在宅医学会代表理事・前田 憲志先生、城西神経内科クリニック・石垣 泰則先生	ランチョンセミナー⑬ 小児在宅医療システム構築の重要性ー日本の新生児医療の発展の光と影ー 共催:フィリップス・レスピロニクス合同会社 座長:あおぞら診療所墨田・前田 浩利先生 演者:埼玉医科大学小児科・田村 正徳先生	ランチョンセミナー⑭ 「在宅における褥瘡予防対策と治療経験からの提案」 共催:マルホ株式会社 座長:鈴木内科医院・鈴木 央先生 演者:統合医療 希望クリニック・堀田 由浩先生	ポスター閲覧可能時間(10:00～13:30)						
	13:30-14:30	シンポジウム 「国立長寿医療研究センターの取り組み」 第1部 基調講演 多死社会に向けて在宅医療をどう普及させるか 座長:ひまわりクリニックきょうごく・前沢 政次先生 演者:国立長寿医療研究センター・大島 伸一総長 第2部 在宅医療ナショナルセンターとしての国立長寿医療研究センターの取り組み 座長:国立長寿医療研究センター 在宅連携医療部・三浦 久幸部長 演者:国立長寿医療研究センター 在宅連携医療部・三浦 久幸部長 同センター・千田 一嘉先生 同センター・後藤 友子様 同センター・大島 浩子先生 同センター・洪英在先生	市民公開講座 高齢者虐待に対応する 座長:医療法人社団 実幸会 いらはら診療所・和田 忠志先生 演者:弁護士・大阪アドボカシー事務所/日本高齢者虐待防止学会理事長・池田 直樹先生 愛媛県中予地方局総務企画部地域政策課・前神 有里先生 松前町地域包括支援センター・畑中 真理先生	市民公開講座 施設での看取りを考える～看取りの障害になっているものは何か～ 座長:長尾クリニック・長尾 和宏先生 演者:もりもと在宅クリニック・亀井 修先生、株式会社スローライフ・喜井 茂雅先生、託老所あんき・中矢 暁美先生、アミーユよんでん道後・竹内 直人先生、アユーラ小規模多機能 枝松・大野 定治先生	市民公開講座 次の災害時に現場はどう動けるか?外部はどう支援できるか?～災害医療をめぐるコーディネータについて考える～ 座長:山梨市立牧丘病院・古屋 聡先生 演者:つなプロ気仙沼・川崎 克寛先生、どさんこ海外保健協力会/シェア・大泉 樹先生、キャンパス・菅原 健介先生、石巻市河北包括支援センター・川添 圭子先生 指定発言:たんぼぼクリニック・永井 康徳、石巻開成仮診療所・長 純一先生	一般講演 「神経疾患の在宅ケアー医療処置の選択と終末期ケアを中心に」 座長:順天堂大学・横山和正先生 演者:神経内科クリニックなんば・難波 玲子先生	一般講演 「在宅における看取りのパスの活用～Liverpool care pathway 日本語版在宅バージョンについて～」 座長:たんぼぼクリニック・矢野 博文 演者:東芝病院 緩和ケア科・茅根 義和先生	教育講演③ 「医療・介護関連肺炎」 座長:順天堂大学総合診療科・磯沼 弘先生 演者:順天堂大学医学部総合診療科・乾 啓洋先生	ワークショップ 行列のできる在宅相談所多職種連携向けグループワーク オレンジホームケアクリニック 紅谷 浩之先生						
	14:30-15:30														
	15:30-16:00	閉会式													
										※3月27日現在					

※事前申し込みが必要です。お申し込みはプログラムのページからお願い致します。

ポスター閲覧可能時間

全国在宅医療連携拠点事業所ポスター発表会・交流会